

子どもの読書

「みんなで支え合う読書活動」

1. 枕崎市の読書グループ

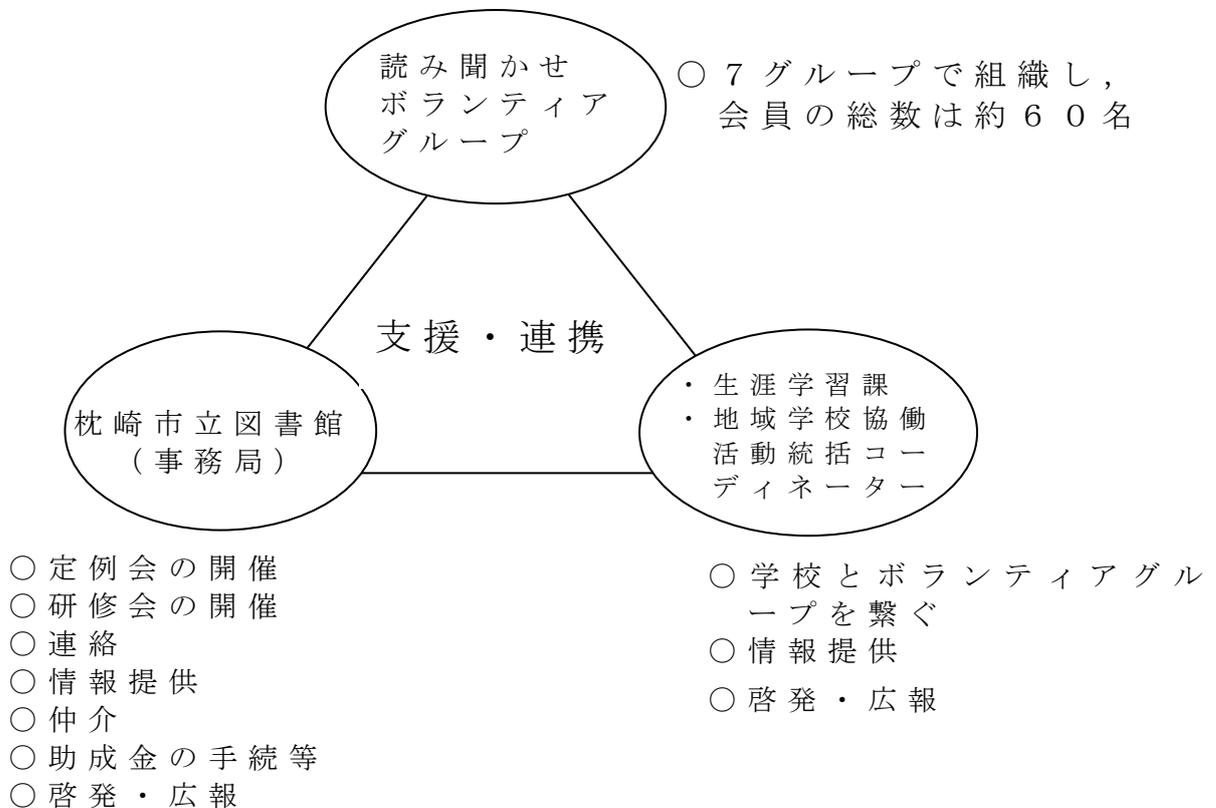
枕崎市内には、読み聞かせボランティアが現在7グループあり、各校区の小・中学校や幼稚園、保育園で自主的に活動しています。

コロナ禍以前は、社会福祉施設・高齢者施設等で読み聞かせをするグループもありました。

2. 読み聞かせボランティアグループ連絡会

グループの継続や、資質の向上を目指すためにはそれぞれのグループを組織化し相互に連携する必要があるとし、平成21年に「読み聞かせボランティアグループ連絡会」を発足しました。

(1) 組織と運営



(2) 定例会

- ・年3回実施します。(うち1回はスキルアップ研修会)
- ・活動状況報告・情報交換等, それぞれのグループが抱える問題などについて協議します。
- ・教育委員会生涯学習課の図書館担当者・地域学校協働活動統括コーディネーターが定例会に参加し, 情報共有すると共に学校での読み聞かせ活動が円滑に取り組めるよう調整してくれます。

(3) スキルアップ研修会

絵本作家や絵本専門士等の専門家を講師に招き, 研修会を実施しています。

これまでの研修内容は, ファーストブック・自然科学の絵本・SDGsをテーマにした絵本等について学びました。

その他, 技術面の向上を図るためにブックトークやアナウンサーを講師に招いた効果的な読み方の講習会なども実施しました。

(4) 図書館主催のイベント等への協力

ファーストブック講座での読み聞かせの実演や, ふれあい図書館まつり・こども読書活動推進研修会に参加・協力しています。

3. 成果と課題

平成21年に連絡会を発足して以来, 当時のボランティアグループが今も変わらずに地域で読書活動を継続していることは, 相互扶助の機能を発展させ, グループ同士の交流やスキルアップに取り組んできた成果だと思えます。

各グループは, コロナ禍を経て活動状況の変化や活動回数の減少, 技術面の不安, 読み手の減少・高齢化など様々な課題を抱えていますが, これからも, 読み聞かせボランティアグループの連携とスキルの向上を目指し, 後々に引き継いでもらえるような活動を行っていきたいです。